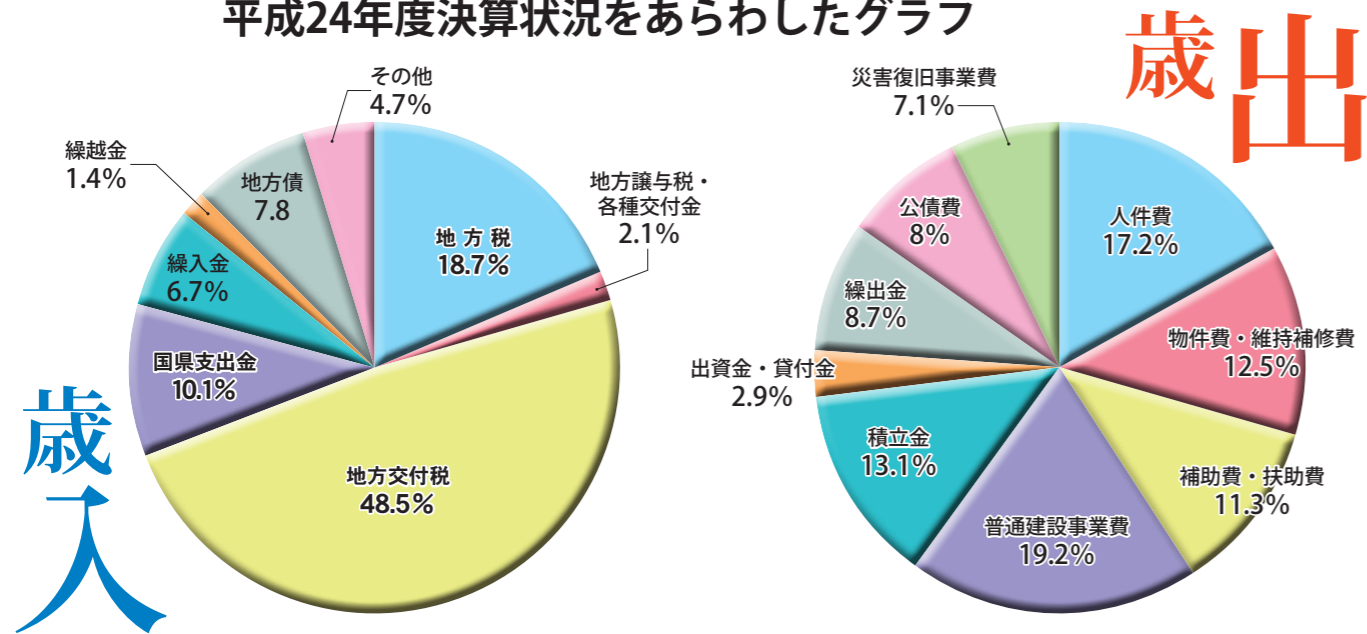


平成24年度決算状況をあらわしたグラフ



平成24年度の主な事業です

防災無線デジタル化更新工事 〈事業費 1億6,800万円〉

防災無線のデジタル化により機能の強化を図るとともに、災害時等に周知が徹底できるよう屋外拡声器の増設を行いました。



元気な地域づくり交付金事業 〈事業費 299万円〉

各地区で地域の課題解決のための話し合や地域交流などを開催し、元気な地域づくりに取り組んでいます。



関大橋耐震補強工事 〈事業費 3,660万円〉

今後大きな地震が起きても安全に通行できるよう関大橋の耐震補強工事を行いました。



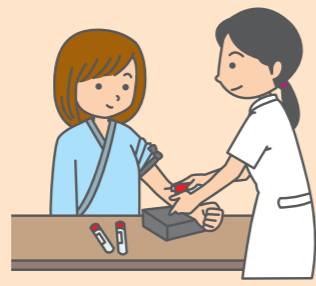
高齢者センター建築 〈事業費 7,123万円〉

高齢者のみならず、新たな世代間の交流や地域のコミュニティー拠点施設として、高齢者センターを新築しました。



各種健康診断事業 〈事業費 1,363万円〉

町民の皆さんの病気を早期発見出来るよう各種健康診断を実施しました。



保育所運営 〈事業費 3,938万円〉

明るく元気で豊かな人間性を育むよう事業の充実を図り、保育所を運営しています。



七ヶ宿町の平成24年度決算の状況をお知らせします

みなさんから納めていただいた税金や国・県からの支出金等がどのように使われているかを平成24年度の普通会計（一般会計・町営バス特別会計・介護サービス特別会計）を中心に決算の概要をお知らせします。

平成24年度に普通会計において町に入ったお金（歳入）は、28億2,979万円、町が使ったお金（歳出）は、27億3,055万円でした。前年度と比べると歳入は3億5,337万円の増（+14.3%）、歳出は3億3,516万円の増（+14.0%）となりました。

歳入

地方税	5億2,947万円 (△)	町民税、固定資産税などみなさんから納められた税金（ダム交付金も含みます）です。
地方譲与税・各種交付金	5,899万円 (△)	自動車重量譲与税及び地方消費税交付金や利子・配当にかかる税の一部が町に交付されたお金です。
地方交付税	13億7,143万円 (△)	地方税の収入が少ない団体に財源を保障し、一定の行政サービスを提供できるように国から交付されたお金です。普通交付税と特別交付税、震災復興特別交付税があります。
国県支出金	2億8,545万円 (△)	国や県から特定の目的のために支出されるお金です。
繰入金	1億8,924万円 (△)	財源不足を補うために基金などから補てんしているお金です。財政調整基金、減債基金、振興基金などが含まれます。
繰越金	4,103万円 (△)	前年度から繰り越したお金です。
地方債	2億2,050万円 (△)	町が財源を確保するために借り入れたお金です。
その他	1億3,368万円 (△)	町の施設使用料や町営バスの使用料・中小企業等への貸付金の元利収入などのお金です。
合計	28億2,979万円 (△)	

歳出

人件費	4億6,835万円 (△)	町長や議会議員の報酬、職員の給与、共済組合（社会保険）の負担金などになります。
物件費・維持補修	3億4,197万円 (△)	物件費は電話代や郵便代、燃料費、光熱水費、消耗品費、委託料などになります。維持管理費は町が管理する公共用施設等を維持するための経費になります。
補助費・扶助費	3億0,920万円 (△)	補助費は各種団体への補助金、仙南広域行政事務組合や公立刈田総合病院等への負担金などになります。扶助費は生活するための社会保障給付金、医療費助成などになります。
普通建設事業費	5億2,310万円 (△)	防災無線のデジタル化による機器更新、関大橋耐震補強工事などに使われたお金です。
積立金	3億5,827万円 (△)	町の貯金で財源不足が生じた時の蓄えとして、財政調整基金などに積み立てたお金になります。
出資金・貸付金	7,800万円 (△)	民間等に対して必要な資金の貸し付けを行うためのお金です。
繰出金	2億3,795万円 (△)	国民健康保険、診療所、介護保険、後期高齢者医療、簡易水道、公共下水道などの特別会計に補てんしたお金です。
公債費	2億1,977万円 (△)	町が財源を確保するために借り入れたお金の返済金です。
災害復旧事業費	1億9,394万円 (△)	災害等により被災した施設を復旧するためのお金です。
合計	27億3,055万円 (△)	

※（ ）内の矢印は、平成23年度決算と比較しての増減を表しています。

歳入から歳出を差し引いた収支は… **9,924万円の黒字**となりました